



2006年8月発行

編集・発行

君津中央病院

☎ 0438 (36) 1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



理念

私たちは良質で安全な医療を提供し、地域の皆さまに親しまれ、信頼される病院をめざします。

基本方針

- 1、接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2、高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3、包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4、救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5、職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6、病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

診療科紹介 ～君津中央病院小児科～

はじめに…

君津中央病院の小児科に、どんなイメージをお持ちでしょうか？。「どんな病気でも、何とかしてくれる、こどもたちにとって頼もしい味方である。」なら良いのですが、「夜、急に熱が出たのに、すぐ診てくれなかった。」とか「熱が長く続いて心配になって、夜に電話をしたのに、次の日と言われて不満だ。」とか、聞こえて来そうです。今日は、君津中央病院の小児科の真の姿を、大公開としましょう。

入院で治療ができます

まずは、入院の施設を持っていることがあげられます。当たり前？と、みなさま、お思いでしょうか。四市には、小児が、入院で、いつでも治療ができるようになっている病院が他にないのです。だから、夜間や休日にこどもで入院治療が必要な場合、他の地域で行っ



ているような、当番で入院を受け持つ輪番制を取ることができません。入院患者は、一手に引き受けている状態です。クローバーの第1号で10階西病棟が紹介されていますが、病院の最上階にあり、小児科として34床の病床を持っています。写真は、病棟内に設けられているプレイルームの様子です。こどもたちが安心して病気から回復できるように、保育士2人がお手伝いしています。



小児科と臓器別専門

内科が臓器別になっているのに小児科は？と疑問に思ったことがありますか？小児科の医師に「専門ではないので」といわれて、はてな？と思った人は多いかもしれません。内科も以前は全身を診ていたのに、医学が進歩して細かく分かれてしまって、現在は、からだ全体を診察する総合診療科が、逆に注目されています。小児科でも、内科のように、専門的な病気は専門でないと分からない時代になってきています。しかし、こどもは大人とちがって、身体のどこが調子悪いなんて言ってくれませんし、たとえおなか痛いと言っている、別の部分の具合が悪いことは良くある事です。全体を診て判断しないと、正しい診断に近づけない事になります。私たち小児科医は、自分の専門領域以外の病気のこと、ある程度勉強して身につけていないと、病気を見つけることが難しくなってしまうわけです。こんなこともあって、週に2回、抄読会を行



っています。外国の医学雑誌を持ち回りで読んで、お互いに情報交換をする場を設けています。写真はその様子です。（小児外科の医師と研修医も参加しています。）専門性の高い病気であることがわかったこどもたちは、専門の医師が診察を行うことにして、神経外来・循環器外来・内分泌外来・血液外来を午後に予約制で開いています。

私たちの喜びは

何といっても、こどもたちが病気から回復して帰って行く時の笑顔には、他の科では味わえない喜びがあります。現在の医学でも直らない病気の場合は、逆に辛いこともあります…。こどもたちの未来を守ることが私たちの使命と考えています。



みなさまにお願いしたいこと

病院の小児科の姿が、少しでも伝わってくれば良いのですが。私たちは、こどもたちの命が安全であるように願って、日々の診療を行っているのですが、具合が悪くなったこどもたちすべてを、この病院だけで診るには無理があるのはおわかりいただけると思います。なんといっても小児科医は6人しかおりませんし、休日夜間には医師1人で、入院している患者や救急患者に対応しているのですから。重症な患者から優先して診ていくしかないのです。そこで、こどもを育てているみなさんにお願いがあります。まず、家庭医・かかりつけ医を持っていただくことです。そして、ある程度の急病は、そちらの医師と相談して解決していただくと、かなりの数のこどもたちが、休日や夜間に、バタバタあわてなくてすむと思います。昼間は様子を見ていて、悪くなったら中央病院に相談すればいいや、では、他の重症の患者に集中して診療を行っている当直の医師を疲れさせ、本当に命を助けなければならないときに、力を発揮できない事態になり得ます。こどもたちが重症になった時、安心してかかれるように、軽症と思われる場合は、かかりつけ医の診察を受けておいて、重症と判断されれば紹介してもらうのが良いと思います。そうは言っても、急に悪くなるのがこどもなんですけどね。

おわりに…

これまでの話で、また、君津中央病院のしきいが高くなったでしょうか。でも、これが現状なんです。数年前から新聞紙上などで取り上げられてきた、小児救急の問題は、私たちの病院でも同じ問題。つまり、大きい病院に時間外のこどもたちが集中する→小児科医が疲れて辞めてしまう→小児科医が足りない→残りの小児科医に、ますます負担が集中する。という悪循環が生じています。こどもたちの命を守るシステムを維持するために、先ほどの協力をお願いしているところですが、実は小児の場合、軽症なのか重症なのかは、明らかに分けられないこともあり、単純ではありません。小児科医がたくさんいれば、断らずに診る方が間違いはないのです。小児科医が病院に増えてくれば、もう少し余裕ができて親御さんの不安にも対応できると思うのですが、しばらくは、重症を選んで診察していくしかないと考えています。しかし、現状はそうでも、これからの夢としては、小児科医が余裕を持って診療に励むことができて、こどもたちにも、親たちにとっても、安心して暮らしていける地域になってほしいと思っています。

（小児科部長 田島和幸）

～君津中央病院形成外科～

1) 形成外科とは？

形成外科とは主に外科的手技（メス）を用いて体表面の形や色の異常を治療する科です。整形外科ともよく混同されますが、整形外科が主に骨、関節を扱うのに対し、形成外科は主に皮膚表面などの**目に見える部分の病気**が主な治療対象です。機能はもちろん**見た目も良くする**診療科と考えてください。

2) 主な治療対象疾患

下顎部母斑



腹部癭痕（ケロイド）



腫瘍

主として皮膚・皮下腫瘍を対象とします。ほくろ・しみ、血管腫、粉瘤、脂肪腫などの良性腫瘍や皮膚癌などの悪性腫瘍を切除し、その後の組織欠損の再建を行います。ただ腫瘍を切除するだけでなく、その傷跡もキレイになるように最善の努力を払います。

外傷

体表面のけが、熱傷などの治療を行います。また傷跡やケロイドをよりキレイに目立たない状態にするための治療を行います。

切断されてしまった指の再接着、顔面骨骨折（鼻骨、頬骨、上下顎等）なども治療します。

先天奇形

口唇裂・口蓋裂、多指症・合指症、副耳やその他の・先天奇形－口唇裂・口蓋裂、多指症・合指症、副耳やその他の耳介奇形（埋没耳、立ち耳、小耳症～）などの体表面の奇形が治療対象になります。

その他

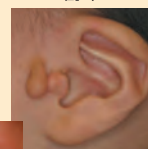
眼瞼下垂（まぶたの垂れ下がり）や陥入爪・巻き爪、わきがなども治療も行っています。難治性潰瘍（いつまでも治らない傷）や皮膚の感染などの治療も行います。美容外科も形成外科の一分野です。自費の診療は行っていないですが、遠慮なくご相談ください。

先天奇形

口唇裂



副耳



多指症



老人性眼瞼下垂



3) 外来診察日、手術日

外来診察は火曜日と木曜日の午前中になります。新患の診察は11時からとなりますのでご注意ください。その他の曜日は再診の方のみの完全予約制となります。外来（局所麻酔）手術は月曜日と金曜日の午前中（一部午後）、入院（全身麻酔）手術は水曜日となっています。

看護局 だより

病棟風景



看護局職場紹介 9東病棟



こんにちは！ 9東病棟師長の高石です。当病棟は、消化器科・呼吸器科病棟です。この4月より、フレッシュ1年生が仲間に入り、共に頑張っておりますので、紹介したいと思います。



鈴木理絵

はじめまして！

NEW FACE

私は教員経験があり、身体的・精神的に病んでいる生徒が沢山いる事を知り、病や関わり方について理解を深めたいと思い看護学校に入学しました。晴れて国家試験も合格し、この4月から看護師として9東病棟で働いています。看護師の仕事は責任が重く、日々緊張の連続です。しかし、明るく優しい先輩ナースに支えられ、頑張っています。患者さまが安心できるように入院生活をサポート出来るよう、これからも努力していきたいと思っています。

地域医療 センターの風



こんにちは、訪問看護室です。

私たちは、在宅で療養される皆様へ心のこもった看護サービスをお届け致します。主治医が当院で、木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市（例外として市原市）にお住まいの方を対象とさせていただきます。

気管切開・人工呼吸器・在宅酸素・経管栄養（経鼻、胃ろう）・膀胱内留置カテーテル等医療依存度高く様々な不安で一杯の方、皆様が安心して療養生活が送れるよう支援させていただきます。



【ストーマ外来】

当院では平成17年4月よりオストメイト（人工肛門・人工膀胱を造設された方）の相談窓口として「ストーマ外来」を開設致しております。現在約70名のオストメイトが通院中です。オストメイトがストーマに関する自己管理に自信が持て、日常生活が快適に過ごせるよう、医師、WOC認定看護師によるマンツーマンの診察・ケア指導を行っています。

★ストーマ外来の内容

- ・ストーマや周囲皮膚のトラブル解決
- ・ストーマ装具や関連製品のなどの情報提供
- ・体型の変化や日常生活の変化に応じたケア方法の指導
- ・日常生活上で困っている事への相談
- ・「オストメイトの会」の紹介



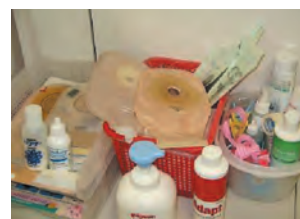
当院で手術されていない方でもストーマに関する悩みがあり、ひとりで困っている方がありましたら、気軽に私達に、ご相談下さい。
WOC認定看護師：今野・中島

開設日と時間：毎週木曜日

8：30～17：00

場所：27番外来 診察室2番：完全予約制

*外科外来にお問い合わせ下さい



ストーマケア製品



ストーマ外来



上写真・本院：技師26名(6)、看護師6名、医療助手4名



右写真・分院：技師2名

〇は女性技師

一般撮影、パントモ、乳房撮影、X-TV、CT、MRI、RI、血管撮影（心カテ、DSA）、リニアックが稼動しております。地域連携室を経由し、近隣医療施設からの検査・治療依頼にも対応しており、当院の機器施設を有効利用していただければと思います。

今回は、治療部門をクローズアップします

放射線治療

アップグレードを要求される 放射線治療担当の診療放射線技師

「放射線治療」のイメージは？癌治療？具合の悪い患者さま？放射線治療の対象となるのは、殆どが悪性の腫瘍です。使用する装置は高エネルギーX線発生装置（医療用直線加速器）という大掛かりで、しかも精密な機能を有するものです。

癌患者数の増加・高齢化・患者のQOLの重要視に伴い、対象患者数は明らかに増加し、対象も早期癌の根治的治療から進行期や終末期の対症療法まで実に多種多様で、治療方法も複雑化しミリメートル単位の精度まで要求されます。

近頃、放射線治療の現場では、残念なことに診療放射線技師が原因と考えられる医療過誤の報告が少なくありません。日本では欧米と異なり放射線治療を支えるスタッフが豊富でないため、放射線治療のシステム上の品質保証やスタッフの教育に配慮がされてきたとは言いがたいですが、実際に患者さまの体に大きな影響を与える放射線をあてるのが診療放射線技師であるからには「命令に従った」では責任を免れることはできません。放射線治療の技師には、自分達がスイッチを押す放射線や装置のシステムについての正確な知識を求められているだけでなく、患者さまの状態や治療目的を理解することが重要です。

放射線治療を担当する技師の質の安定化を求めて、昨年関連の専門団体による協議会が専任技師制度を発足させました。現場経験だけでなく学習実績や研究活動まで問われる厳しいハードルですが、将来的には病院の格付けや診療点数にも反映することです。まさに、アップグレードが求められているわけです。…とここまで言うとなかなか厳しい職場のように思われるかもしれませんが、確かに、色々な意味で厳しい部分がありますが、長い場合には約2ヶ月間毎日治療に通う患者さま達との心の交流があったり、実際に治療をしているためか「治療の先生」と慕われたり…そこには放射線治療に長く携わった経験をもつ技師でなければ味わえない医療者としての醍醐味もあるように思います。

当科では、今後も医療被曝の適正化に努めると共に良質で安全な検査・治療体制及び診断に適した画像を提供していきたいと思います。



おくすい豆事典

睡眠薬

“睡眠薬”と聞くと悪い印象をもたれている方がいらっしゃるのではないのでしょうか？

最近では睡眠薬が多数開発されていて医師の指示に従えば安全性も高く依存性も少ないのでやめられなくなるという心配はまずありません。

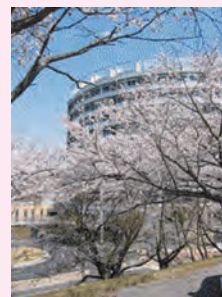
大切な事は

- ①寝る直前に服用する
- ②アルコールとは一緒に服用しない
- ③医師の指示した以外の薬と一緒に服用しない
- ④自己判断で加減したり、中止しない
- ⑤他の人にあげない

これらの事を守り、快眠を得るために睡眠薬と上手につきあうことが大切です。

看護師募集

君津中央病院では、正規職員または臨時職員の助産師・看護師を募集しています。短期間の勤務がしたい、夜勤ができないという方へのご相談にも応じますので、気軽にお問い合わせください。



病院の桜

私たちはあなたを待っています



- ❖ 身 分 地方公務員
- ❖ 募集人員 10 名程度
- ❖ 応募資格 昭和 42 年 4 月 2 日以降生まれの有資格者。
三交替勤務または日勤勤務のできる方
- ❖ 応募方法 電話連絡の上、次の書類を郵送してください。
①履歴書（市販の様式） ②免許証の写し（原寸大）
- ❖ 試 験 書類選考の上、面接。
面接日時は、追ってご連絡します。
- ❖ 勤務条件 三交替勤務または日勤勤務（臨時・パート）
- ❖ 給 与 当院規定による（経験年数加算あり）
- ❖ 採用時期 平成 18 年 7 月 1 日以降（応相談）

<問い合わせ> 〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010 番地 君津中央病院
TEL 0438-36-1071（代表）
君津中央病院看護局長 小川 久子

君津中央病院附属看護学校 平成19年度学生募集

1. 募集人員 35 名
2. 修業年限 3 年
3. 応募資格 高等学校卒業者（見込みも含む）又はそれと同等以上の学力を有すると認められる女子
4. 試験科目及び日程 第1日目：数学A・I 英語I 国語 作文
第2日目：面接
★第1日目の合格者に限り、第2日目を受験できます。
・願書受付 平成 19 年 1 月 4 日（木）～1 月 11 日（木）
・試 験 日 平成 19 年 1 月 17 日（水）・1 月 18 日（木）
・合格発表 平成 19 年 1 月 29 日（月）
5. 一次募集 ・願書受付 平成 19 年 2 月 1 日（木）～2 月 8 日（木）
・試 験 日 平成 19 年 2 月 14 日（水）・2 月 15 日（木）
・合格発表 平成 19 年 2 月 27 日（火）
6. 二次募集



※詳細については、看護学校入試係までお問い合わせください。

TEL 0438-36-1071

内線 4850

時間 午前9時～午後5時15分
（土・日・祝日を除く）



平成18年度ボランティア表彰式

8 月 2 日（水）に平成 18 年度ボランティア表彰式が開催されました。

地域住民の参加、協力による「院内ボランティアひつじぐも」は、君津中央病院の基本方針の一つである「接遇とサー

ビスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます」に基づき、院内での患者さまの不便を緩和し、癒し感のある病院づくりを目的として平成 15 年 7 月に発足しました。

ボランティア表彰式は院内ボランティアの活動累計時間が 100 時間、300 時間、500 時間、1000 時間等を経過した方、及び年間 5 回以上の活動をした団体等を顕彰するもので、この日、磯部勝見病院長から感謝状、記念品が贈られました。

表彰式終了後、「院内ボランティアひつじぐも」の年間活動報告（清水弘美ボランティアコーディネーター）、生活習慣病の予防についての特別講演（獅子田あかね糖尿病認定看護師）が行われました。

感謝状受賞者は次のとおりです。

●君津中央病院ボランティア「ひつじぐも」100時間活動受賞者

香田十四太様、遠田真理様、大嶺公子様
江島昭子様、田中智恵子様、黒瀬京子様

●君津中央病院ボランティア「ひつじぐも」300時間活動受賞者

田中徳子様、浅賀愛子様、竹井文子様
村田三代子様、横内きよ子様

●ボランティア受賞団体

千葉県立上総高校 園芸科様



大佐和分院からのお知らせ

人間ドック開設のお知らせ

分院長 桐谷 好直

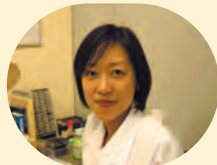
平成18年度の事業計画である人間ドックを9月より開設いたします。当初の予定より多少遅れましたが、健診事業として徐々に軌道にのせたいと考えております。地域包括医療の実践と予防健診の両立をめざして職員一同がんばりますのでご支援・ご協力の程お願い申し上げます。尚、スタートは都合により週1日（火曜日）のみとさせていただきます。手順・診療内容等の詳細につきましては次号で報告する予定です。



診察風景 内科 北湯口医師

白内障の手術が出来ます

今回眼科開設に伴い、白内障手術の準備を少しずつですが行ってきました。多くの方々のご協力の下に体制が整いつつあります。まだ準備段階ですが、8月下旬から予約受付、9月中旬から手術開始の予定です。



眼科 茂田医師



手術室

大佐和分院 外来診療日・診療担当医師名

(平成18年4月改正)

●受付時間 午前 8:00～11:30
午後 12:00～15:00

●診療開始時間 午前 9:00～
午後 13:30～（眼科のみ 14:00～）

■ 予約制

	月		火		水		木		金		備 考
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科・小児科	桐谷 北湯口		桐谷 北湯口		桐谷 庄司	北湯口	桐谷 北湯口	庄司	桐谷 庄司		
循環器科		交代制									毎週月曜 超音波検査のみ
神経内科									牧野		再来のみ予約
女性外来		鈴木									
外科							朱				
整形外科	塚越				保住				小島		
皮膚科			舘川								第2・4火曜のみ
泌尿器科									永嶌		
眼科	茂田	茂田	茂田	茂田	茂田	茂田	茂田	休診	茂田	茂田	

編集後記

今号は専門的な話や耳慣れない言葉が多くなりましたが、医療を理解し、利用していただく際の参考になれば幸いです。

Cloverは昨年10月に創刊し、今号で一周年を迎えました。今までの表紙の写真は病院の建物を様々な角度からとらえてきました。2年目からの表紙を編集委員一同思案中です。お楽しみに。

(K. M)